

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	鼠径ヘルニアに対するロボット支援手術の現状
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 消化器外科 (職名) 准教授 (特任) (氏名) 齊藤 卓也
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 ロボット支援下鼠径ヘルニア修復術の導入にあたる安全性への取り組みと治療成績を検討を目的としています。 〔対象となる患者さん〕 2018年12月から2023年11月までに鼠径ヘルニアでロボット支援手術を実施した患者さんとロボット支援手術を実施しなかった患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ～ 2025年12月31日 〔利用方法〕 インテュイティブサージカル合同会社で開発された内視鏡手術用支援機器(手術支援ロボット)であるダヴィンチを使用し、腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を行った患者さんの検討を行います。年齢、性別、身長、体重、既往歴、鼠径ヘルニアの術前診断と分類、術後は慢性疼痛や再発の有無について、これまでの腹腔鏡手術をおこなった患者さんとの比較検討をおこないます。
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：再発の有無、手術時間、出血量、合併症の有無など
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報を用いる研究に係る	【非該当】

研究機関名・研究責任者名	
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年10月31日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：(職名) 准教授 (特任) (氏名) 齊藤 卓也 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)